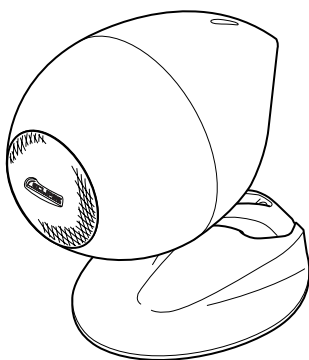
TD307Ⅱ スピーカ
TD307PAⅡ 用スピーカ
TD307THⅡ 用スピーカ

取扱説明書

このたびは、スピーカをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に、必ず保管してください。

FUJITSU TEN

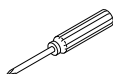
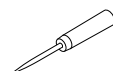
JAPANESE

目次

はじめに

使用する工具類（天井吊り下げ取り付けの場合）

・作業前に下記の工具をご用意ください。

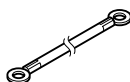
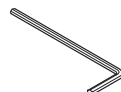
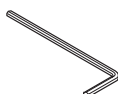
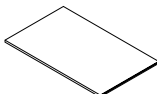
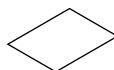
・六角レンチ
（スピーカ角度調整用など、
スピーカに同梱のもの）

・スクリュードライバ（プラス）

・千枚通し
（きりでも可）

・はさみ

・テープ
（紙テープなど）

・ねじ（スピーカベース天井取付固定用）
×４以上

・ねじ（落下防止ワイヤ天井取付固定用）
×1

■梱包物

※この商品は、タイムドメイン理論に基づくスピーカです。

《タイムドメイン理論とは？》

タイムドメイン理論とは、音の波形が出てから消えるまでの、時間的な変化を正しく再現し、再生される音の波形を限りなく原音に忠実に近づけるために生まれた理論です。
この理論によって時間領域（タイムドメイン）での再現性を向上させたタイムドメインオーディオシステムは、音の定位や演奏家が音楽に込めた繊細微妙な表現が、より忠実に再生できるようになりました。

安全に正しくお使いいただくために

■ご使用の前に

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告 **この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警告

- **本製品を高所に設置する際は、確実に固定してください。固定が不十分に行われた場合、落下してけがの原因となります。**
- **本製品のキャビネットは、開けないでください。**
  感電やけがの原因となります。内部の点検・調整・修理は、当社窓口にご相談ください。
  また、本製品を改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- **風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。本製品の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。内部に水や異物が入った場合、火災・感電の原因となります。本製品の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。（特にお子様のいる家庭ではご注意ください。）**

⚠注意

- **本製品の組み立ては平坦な床面で行う。平坦でない場所で行うとスピーカが倒れて怪我の原因となることがあります。**
- **本製品は、組み立て時、運搬時に落としたり、引きずったりしないでください。落としたり引きずったりするとけがや床などに傷が付く原因となることがあります。**
- **本製品は、水平でしっかりとした床に設置する。不安定な場所に設置すると転倒して怪我の原因となることがあります。**
- **乗ったりぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。倒れたりこわれたりして怪我の原因となることがあります。**
- **スピーカ設置後、安全のため定期的に角度固定部やスピーカ固定部にぐらつきなどがないか確認し、増し締めを行ってください。**

JAPANESE

使用上のご注意

■電源を入れる前、または入力切換を行う前には、必ず音量を最小にしてください。
突然の大出力により、接続されたスピーカシステムを破損させる原因となります。

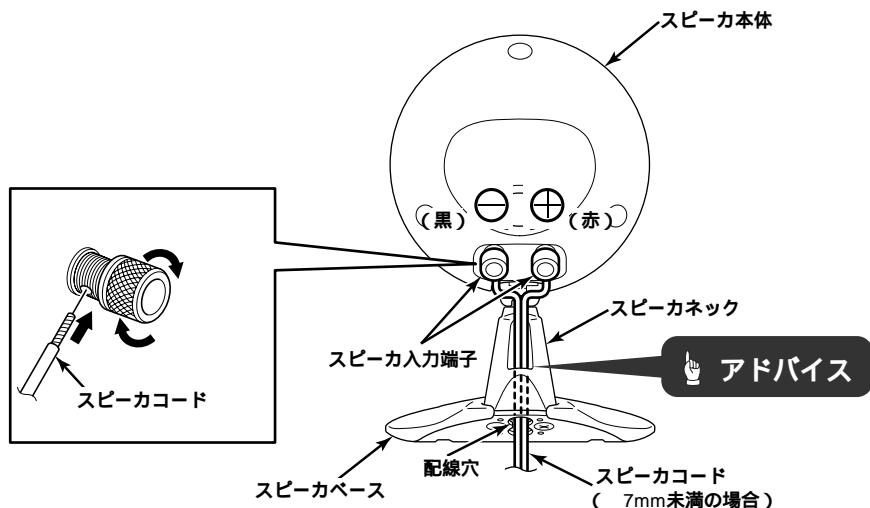
■楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、適度な音量でお楽しみください。特に、夜間などは小さな音量でも周囲にはよく通るものです。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

■スピーカシステムは、必ずアンプの電源を切った状態で接続してください。
誤ってスピーカコードをショートさせると、アンプ内の保護回路が働き、一時的に音声が出力されなくなります。このときは、一度アンプの電源コードをコンセントから抜き、ショートしている部分を正常にし、再度コンセントに接続した後、使用してください。

■本製品を倒さないように注意してください。

■本製品の汚れは、中性洗剤を柔らかい布に含ませて軽く拭いてください。
シンナー、ベンジンなどは使わないでください。

各部の名称と接続

JAPANESE

⚠ 注意

接続の際には、ショートの原因となりますのでスピーカコードの先などが隣の端子に触れることのないよう、確実に固定してください。

アドバイス

スピーカコードは、スピーカベースおよびスピーカネックの配線穴に通すと外から見えにくく見映えがよくなります。（スピーカコードφ7mm未満の場合）
スピーカコードがφ7mm以上の場合は、スピーカネックに通らないため外側を配線してください。

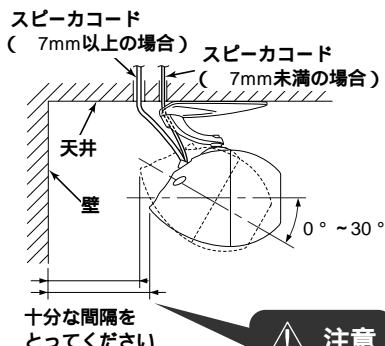
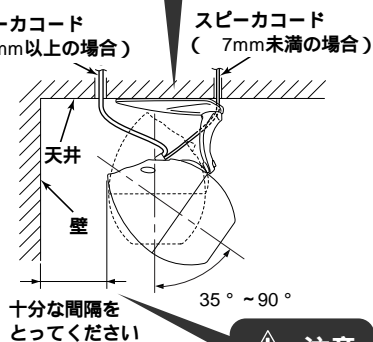
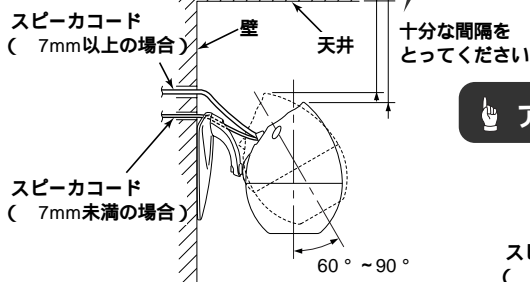
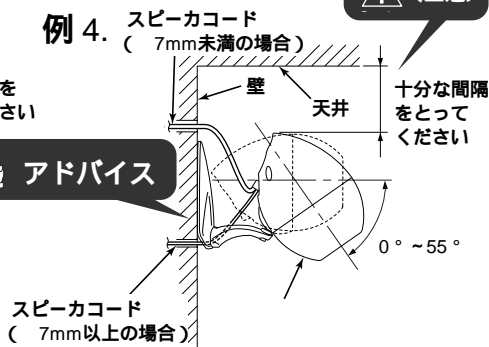
JAPANESE

スピーカ設置方法

本製品は、床に設置して使用する他に天井や壁への取り付けが可能です。取り付けの場合は、別途ねじ（市販品）を準備いただき取り付けに際しては必ず落下防止用のワイヤを取り付けてください。

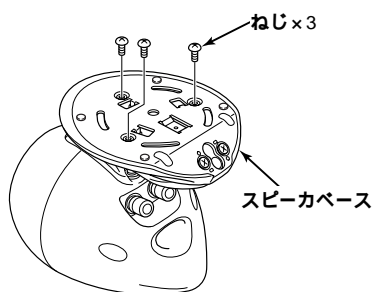
⚠注意

- 取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- スピーカの天井や壁などへの取り付けには、専門技術と経験が必要です。必ず専門業者へ取り付けを依頼してください。
- スピーカの取り付け作業は、必ず2人以上で行ってください。
- 本製品にはスピーカおよび落下防止ワイヤの天井への取付固定用ねじは、付属しておりません。（スピーカ取付穴径：φ7mm）

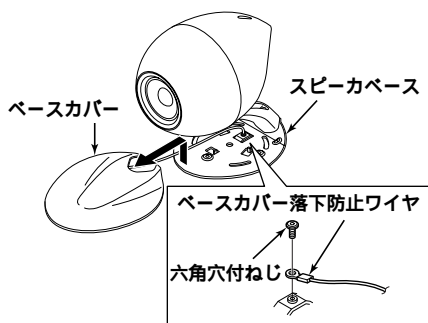
■天井や壁への取付例

アドバイス

- ベースの向きが前後逆になります。
- 例2.、例4.の場合、スピーカベースとスピーカネックを組み換える必要があります。組み換え方法は12頁を参照してください。

⚠注意

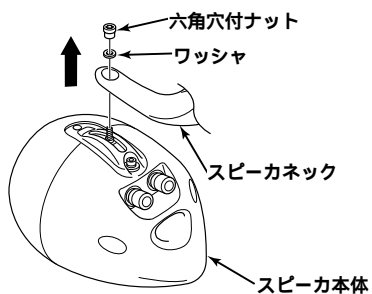
スピーカと壁が接触しないよう、スピーカ後端と壁の間は、必ず間隔をあけてください。

1 スピーカベース底面のねじを取り外す。

アドバイス

取り外したねじは、使用しません。
お客様にて保管願います。

2 ベースカバーを取り外す。

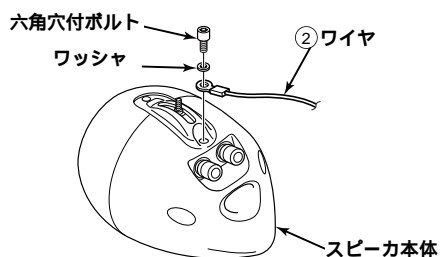
3 スピーカベースからベースカバー落下防止ワイヤ固定の六角穴付ねじを取り外す。

アドバイス

取り外した六角穴付ねじは、後の工程で再度、使用します。六角穴付ねじを紛失しないように注意してください。

4 スピーカ本体とスピーカネックを固定している六角穴付ナットおよびワッシャを取り外す。

5 スピーカ本体からスピーカネックを取り外す。

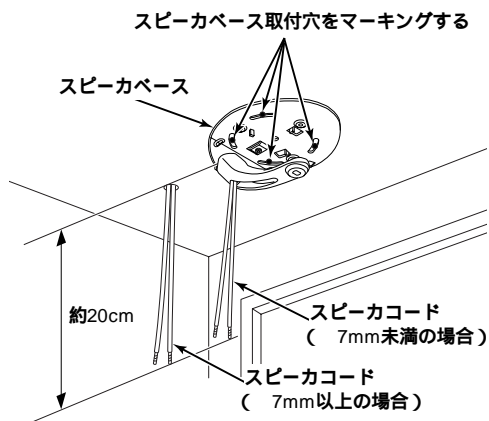
⚠注意

スピーカ本体を取り外す際は、重いので注意して作業を行ってください。

6 スピーカ本体にワイヤを取り付ける。

⚠注意

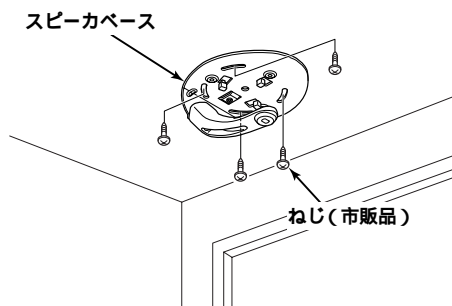
・スピーカが落下しないように、落下防止ワイヤをスピーカへ確実に固定してください。
・ワイヤを取り付ける六角穴付ボルトとワッシャは、スピーカに組み付けられているものを取り外し使用してください。

アドバイス

7 以後は6頁の取付 例1.、例3.についての説明です。また図は例1. のものです。例2. 例4.については6頁の取付例を参照のうえベースの向き、スピーカコードの位置などに注意して取り付けてください。

7 屋内の天井にスピーカベースを使って、スピーカ取付位置を決め、スピーカベース取付穴の位置を天井に千枚通しなどを使ってマーキングする。

アドバイス

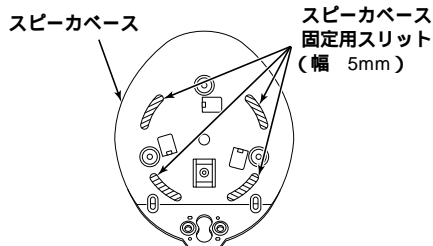
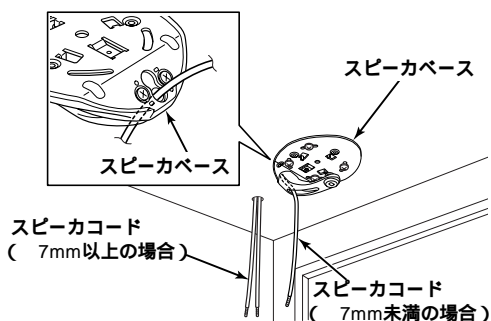
スピーカベースの取付穴を天井にマーキングする際は、スピーカベースを天井にテープなどで貼り付けると作業がしやすくなります。

8 天井からスピーカベースを取り外す。

9 スピーカ取付位置にスピーカベースをねじ（市販品）で取り付ける。

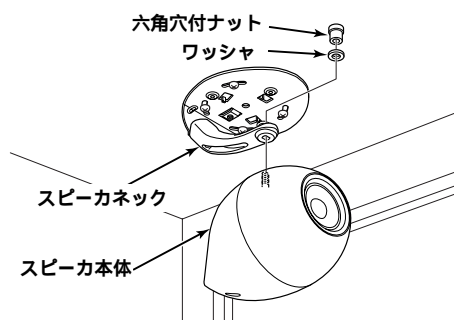
⚠注意

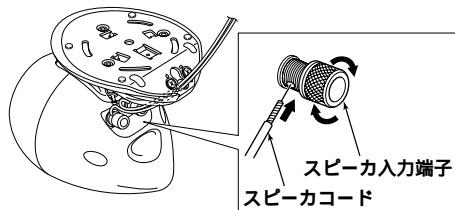
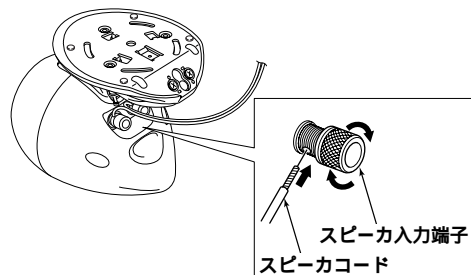
- スピーカが落下しないよう、スピーカネックおよびスピーカベースを確実に取り付けてください。
- 天井や壁に取り付けるためのねじは付属しておりませんので別途ご用意ください。
- スピーカベースをねじで天井や壁に固定する際、ねじをきつく締めすぎるとスピーカベースが歪み、ベースカバーが取り付かなくなる恐れがあります。ねじをきつく締めすぎないよう、ご注意願います。

アドバイス

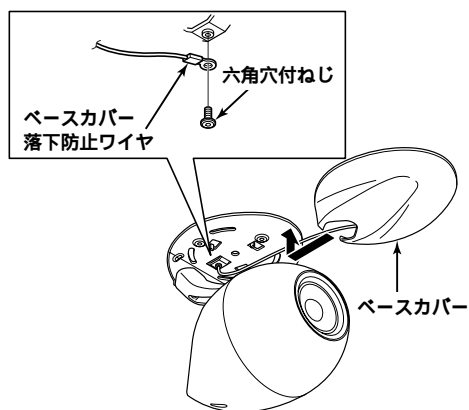
- 天井や壁へスピーカベースを取り付ける際、天井や壁の強度、梁の位置や有無に応じて取付ねじの位置、本数を調整してください。
- スピーカベースを天井や壁に取り付ける際は、▨部のスリットを使用してねじ（市販品）止めしてください。
- スピーカベースを天井や壁に取り付ける際は、スピーカベースをテープなどで天井や壁に仮固定すると作業しやすくなります。

10 スピーカコードを配線する。

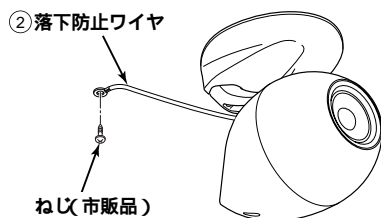
アドバイス

- スピーカにスピーカコードを接続しやすくするためスピーカコードに20cm程度の余裕を持たせて配線してください。
- スピーカコードは、スピーカベースおよびスピーカネックの中に通すと見映えがよくなります。（φ7mm未満の場合）

11 スピーカネックにスピーカ本体を確実に取り付ける。

φ7mm未満の場合

φ7mm以上の場合

12 スピーカ入力端子にスピーカコードを接続する。

⚠注意

スピーカコード接続の際には、ショートの原因となりますのでスピーカコードの先などが隣の端子に触れることのないよう、確実に固定してください。

13 スピーカベースに **3** の工程で外したベースカバー落下防止ワイヤを取り付ける。

14 スピーカベースにベースカバーを取り付ける。

15 落下防止ワイヤを天井に取り付ける。

⚠ 注意

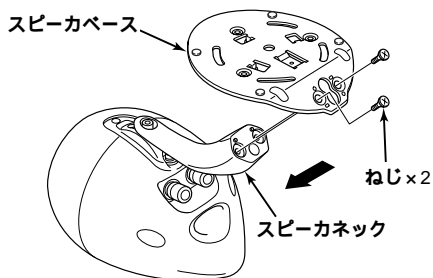
スピーカが落下しないように、落下防止ワイヤを天井へ確実に固定してください。

アドバイス

落下防止ワイヤは、届く範囲内で天井の梁などの強度がある位置に取り付けてください。

スピーカベースとスピーカネックの組み換え方法

アドバイス

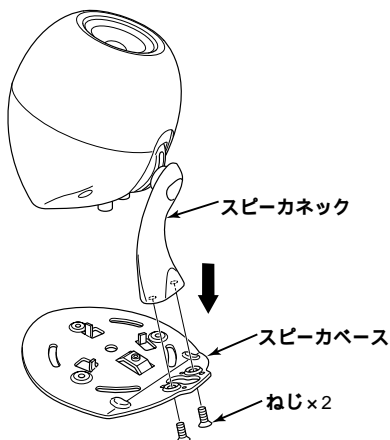
TD307 II スピーカは、スピーカベースとスピーカネックの組み換えにより、より多彩なスピーカレイアウトをお楽しみいただけます。

アドバイス

スピーカの分解は、7頁のスピーカ設置方法 1 〜 3 を参照してください。

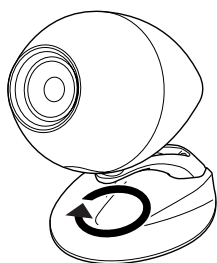
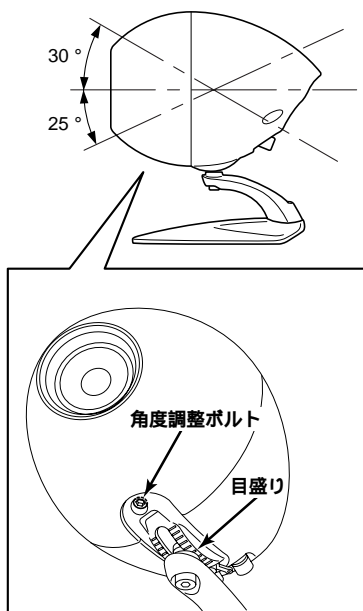
1 **スピーカネックをスピーカベースに固定しているねじを取り外す。**

2 **スピーカネックをスピーカベースから取り外す。**

⚠注意

スピーカネックを取り外す際は、重いので注意して作業を行ってください。

3 **スピーカネックの向きを変えて、スピーカベースに取り付ける。**

スピーカ角度調整方法

JAPANESE

360 ° 回転

1 スピーカ付属の六角レンチでスピーカ下側の角度調整ボルトをゆるめる。

アドバイス

スピーカの角度調整の際は、重いのでスピーカに手をそえて作業を行ってください。

2 スピーカの角度をお好みの位置にセットする。

アドバイス

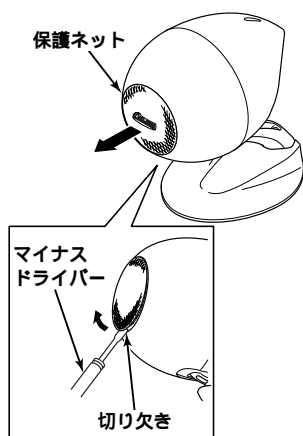
スピーカの上下角度は、下25 ° 、上30 ° に調整が可能です。天井、壁取付時の上下角度調整範囲は6頁の取付例を参照してください。左右角度は360 ° 調整が可能です。

3 角度調整ボルトを確実に締め付ける。

JAPANESE

保護ネットの取り外し方法

アドバイス

本スピーカは、お好みにより保護ネットの取り外しが可能です。

1 **保護ネットの切り欠きにマイナスドライバー等を差し込み上に引き上げ、保護ネットを浮かす。**

⚠注意

マイナスドライバーを使用する際、スピーカのコーン紙やスピーカの筐体を傷付けないように注意してください。

2 **保護ネットを取り外す。**

お手入れ／仕様

JAPANESE

■お手入れ

お手入れする前には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
本製品の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼって拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
本製品を、ベンジンやシンナー系の液体で拭かないでください。
キャビネット表面を傷める原因となります。

■動作に異常が起きたとき

本製品を使用中に、強い外来ノイズ（過大な衝撃、静電気、落雷による電源電圧の異常等）を受けた場合、または誤った操作をした場合に、正しい動作をしなくなるなどの現象が発生することがあります。

そのようなときは、アンプ側のPOWER（電源）ボタンを一度、「切」にしてください。

再び電源を入れ、正常な動作に戻ることを確認してください。
（引き続き異常が発生する場合は、当社窓口へご連絡ください。）

■仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

●スピーカ部
口径：φ6.5cm
防磁グレード：EIAJ　Ⅰグレード
方式：バスレフ　ボックス
耐入力：定格12W／最大24W
インピーダンス：8Ω
外形寸法：W130×D176×H195（mm）
質量：約1.5kg

JAPANESE

保証とアフターサービス

■保証書（別添）

保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

保証期間

お買いあげの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■補修用性能部品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。

この期間は、通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理及びご不明な点に関するご相談は

別紙に掲載の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！	
このような症状はありませんか？	●電源コードやプラグが異常に熱い ●コゲくさい臭いがする ●電源コードに深いキズや変形がある ●その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、当社窓口にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って修理させていただきます。

保障期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。